

平成28年7月8日

大阪府支援教育研究会会員 様  
特別支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会  
会 長 松本 啓史  
( 泉大津市立戎小学校長 )

## 大支援研研究部 ICT 活用プロジェクト夏期講座案内（3次案内）

大阪府支援教育研究会研究部 ICT 活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。  
多数のご参加をお待ちしております。

### 記

1. テーマ 9月から使える支援教育での ICT 活用
2. 日 時 8月18日（木）、19日（金）（午前講座：9:30～12:30、午後講座：13:30～16:30）
3. 会 場 大阪府立箕面支援学校  
〒562-0035 箕面市船場東3丁目15番1号  
方法 その1 北大阪急行・大阪モノレール「千里中央駅」より  
阪急バス「箕面」行き、または  
北緑丘団地経由「豊中」行きに乗車  
乗車時間は約5分  
「新船場南橋」バス停で下車、北東に徒歩で約800m  
方法 その2 「阪急箕面駅」より  
阪急バス「千里中央」行に乗車  
乗車時間は約10分  
「新船場北橋」で下車、東に徒歩で約650m  
方法 その3 「阪急豊中駅」より  
阪急バス 北緑丘団地経由「千里中央」行に乗車  
乗車時間は約30分  
新船場南橋」バス停で下車、北東に徒歩で約800m  
**※公共交通機関でのご来場をお願いします。**  
**また、大阪府立箕面支援学校へ電話等での問い合わせや欠席連絡をしないでください。**  
**当日、欠席の場合は、平峰（090-6055-3405）にご連絡下さい！**
4. 参加費 無料（ただし、材料費等が必要な講座があります）
5. 定 員 各講座先着順で定員まで受け付け（申し込み状況をHPでお知らせします。）
6. 申し込み 下記申込先まで、以下の内容を明記の上、  
e-mailにてお申し込みください。（必ず**受付受理のメール**を返信します！）  
1) 氏名・所属 2) 連絡先（e-mail）  
3) 参加希望講座記号 4) 懇親会参加の有無（18日（木）の講座終了後 開催）  
（※会場予定 大阪府立箕面支援学校近辺のお店  
当日のキャンセルはできません。）
7. 申し込み先 平峰 厚正（泉南郡熊取町立南小学校）  
問い合わせ e-mail：ict2016※daishienken.visithp.com  
（※印を@に変えてください） ※問い合わせは、**e-mail**にてお願いします。  
※講座資料をメール添付で送ることがあります。

※yahoo メールで受理メールを送りますので、「受理番号」をご確認ください。

なお件名は「大支援研 ICT 活用夏期講座 問い合わせ」でお願いします。

※会場の大阪府立箕面支援学校に直接電話等で問い合わせしないようにお願いします。

## 8. 講座

講座は、両日とも午前の部（AM）9：30～12：30、午後の部（PM）13：30～16：30で設定しておりますが、講座によっては、開始時刻及び終了時刻が異なる場合があります。また、複数の時間帯にまたがる講座もございます。各講座の時間帯をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

## 9. 講座一覧

記号	講座（講演、講義、PC講座、体験会） 講座名	18日（木）		19日（金）	
		AM	PM	AM	PM
A	講演「楽しくビジョントレーニング～気づきと具体的指導法」 講師：北出 勝也 先生、井阪 幸恵 先生 定員：50名 会場：音楽室	○			
B	講演「アナログな筆談コミュニケーションと思春期の暮らしに大切なこと」 講師：奥平 綾子 先生 定員：50名 会場：音楽室				○
C	講座「学習上の支援機器等教材活用促進事業と 特別支援教育教材ポータルサイトの紹介」 講師：金森 克浩 先生 定員 50名 会場：音楽室		○		
D	講座「何故、算数が苦手なの？その背景にあるもの ～学び方が違うんです～」 講師：近藤 春洋 先生 定員 50名 会場：音楽室			○	
E	講座「つくってみよう、OMELET(オムレット)で簡単 iPad 教材」 講師：仲矢 史雄 先生 定員 15名 会場：調整中		○		
F	講座「マルチメディア DAISY の紹介と作成、事例報告」 講師：田中 直壽 先生 定員 30名 会場：調整中			○	
G	講座「iPad アプリ「FingerBoardPro」で、教材を作ってみませんか？」 講師：糸川 美和子 先生 定員 15名 ※「要：iPad 持参」 会場：調整中		○		
H	演習「自閉症スペクトラムの人とのコミュニケーション コミュメモでみえるコムを」 講師：大石 博司 先生、大前 洋介 先生 定員 20名 会場：調整中			○	
I	教材作り 18日講座「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作 ～オートスキャンもできるよ♪～」 講師：竹島 久志 先生、小笠原新先生、児玉雅明先生 定員 15名 ※「要：ノートパソコン持参」 会場：情報教室		○		
J	教材作り 19日講座「HTML5+Javascript を使った教材開発入門」 講師：竹島 久志 先生、坪郷 正徳 先生、小笠原新先生、児玉雅明先生 定員 15名 ※「要：ノートパソコン持参」 会場：情報教室			○	

※製作講座は、次のページに掲載しています。

## ＜製作講座のご案内＞

記号	講座（製作講座） 講座名	18日（木）		19日（金）	
		AM	PM	AM	PM
K	製作講座Ⅰ「初めてのマイコン教室～早押しスイッチを作ろう～」 講師：浅田 寿展 先生、田中 敏弥 先生 定員：15名 （材料費：1200円、オプションあり） 会場：被服室		○		
L	製作講座Ⅱ「赤外線リモコンの製作」 講師：禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生 （材料費：4500円） ※電源リモコン製作（材料費1500円）はオプション 会場：被服室			○	
M	製作講座Ⅲ「Bluetooth スイッチインターフェイスの製作」 講師：禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生 （材料費：3300円） 会場：被服室				○

※詳細がまだ未確定な講座もあります。決まり次第、大支援研 HP に UP します。HP もご確認ください。

10. **懇親会** 8月18日（木）の講座終了後、懇親会を予定しております。  
（参加費は実費で、会場は当日、お知らせします。会場は大阪府立箕面支援学校近辺です。）  
※当日の参加キャンセルは出来ませんのでご了解下さい。
11. **講座申し込み締切日** 7月31日（日）
12. **備考** ※定員に満たない講座は、当日参加も可能です。HP の参加者状況をご確認ください。  
ただし、準備上の都合がありますので、できる限り、7月末までに事前申し込みをお願いします。  
※yahoo メールで受理メールを送ります。受理番号を必ずご確認ください。  
※G講座は「要：iPad 持参」です。  
※I 講座、J 講座は、「要：ノートPC 持参」です。
13. **協力団体** ICT 活用プロジェクト夏期講座の開催に当たり、「大阪支援教育コンピュータ研究会」の全面的な支援と協力をいただいています。

### 14. 大支援研 ICT 活用プロジェクト夏期講座 各講座の内容概略

講座A	18日（木）講演 9:30～12:00	会場：音楽室	定員	50名
講座名	「楽しくビジョントレーニング～気づきと具体的指導法」			
講師	北出 勝也 先生（視機能トレーニングセンターJoyVision 代表） 井阪 幸恵 先生（和泉市立国府小学校 教諭）			
内容&紹介				
<p>ビジョントレーニングとは視覚（入力）、視空間認知、目と体の協応までの視覚機能を鍛えるものです。100年以上の歴史があり、ビジョントレーニングは50年ほど前にオプトメトリストによって始められました。オプトメトリストは日本ではまだ公的には認められていませんが、海外の多くの国々では高度の専門職となっており、視覚機能のスペシャリストといえます。</p> <p>今回は、子どもたちの実態をどのようなアセスメントで気づいていくのかを、実際に楽しく取り組み、体験しながら知っていただこうと思います。また、事例からビジョントレーニングの有効性についてもお話をします。さらに、学校現場でどのように気づき取り入れていくのか、具体的なアセスメントや指導法もお伝えします。皆さんの明日の実践につながるお話ができれば、と考えています。</p>				

講座B	19日（金）講演 13:30～16:30	会場：音楽室	定員	50名
-----	----------------------	--------	----	-----

講座名	「アナログな筆談コミュニケーションと思春期の暮らしに大切なこと」		
講師	奥平 綾子 先生（株式会社 おめめどう 代表）		
内容&紹介			
<p>「株式会社 おめめどう」は、巻物カレンダーやコミュメモといったアナログなコミュニケーションツールを販売している会社です。前半は、コミュニケーションの基本的な考えから、巻カレやコミュメモを使った視覚的支援についてお話しします。後半は、自閉症・発達障がいの人たちの思春期の支援について、わかってほしい大切なこと。自分で判断し行動する成人期に向けて、必要なものはどんなものかをお話しします。おそらく「なるほど！これが抜けてたらあかんわな！」と感心していただけることでしょう。最後は、Q&amp;Aです。自閉症・発達障がいの子どもの育ちについて、なんでも聞いてください。</p>			

講座C	18日(木) 講演 13:30~16:30	会場：音楽室	定員	50名
講座名	「学習上の支援機器等教材活用促進事業と特別支援教育教材ポータルサイトの紹介」			
講師	金森 克浩 先生（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 総括研究員（情報戦略担当））			
内容&紹介（仮）				
<p>「特別支援教育教材ポータルサイト」とそれに関連する Web 情報の活用講座。  （必要機材）スマホ、タブレット、パソコンなどインターネットにつながる機器  （無くてもいいですが、あると便利です。体験できます。）</p>				
備考				
<p>（必要機材）スマホ、タブレット、パソコンなどインターネットにつながる機器を持参できると、ネット環境を使って、具体的に「特別支援教育教材ポータルサイト」とそれに関連する Web 情報の活用が体験できます。</p>				

講座D	19日(金) 講演 9:30~12:30	会場：音楽室	定員	50名
講座名	「何故、算数が苦手なの？その背景にあるもの ～学び方が違うんです～」			
講師	近藤 春洋 先生（DDサポートひらかた 教育コーディネーター）			
内容&紹介				
<p>算数を苦手に行っている子どものアセスメントをしていると、その困難の背景にさまざまな要因があることに気づかされます。その中でも最も学習が進みにくいのは、数の概念形成に影響を与える能力に弱さがある場合です。  どのような能力に弱さがあるかを詳しくお話をさせていただき、その弱さをカバーするためにどのような支援法が有効なのか具体的な教材やアプリを紹介しながら説明させていただこうと思っています。</p>				

講座E	18日(木) 教材作り 13:30~16:30	会場：調整中	定員	15名
講座名	「つくってみよう、OMELET(オムレット)で簡単 iPad 教材」			
講師	仲矢 史雄 先生（大阪教育大学科学教育センター 科学教育プロジェクト研究室 准教授）			
内容&紹介				
<p>iPad で、紙の上でプリント教材をつくるようにデジタル教材が作れる教材作成支援アプリ OMELET(オムレット)を使ってみませんか？写真機能を使ってどんどん教材が作れます。ワードやパワポで自作したワークシートも取り込むことができたり、子ども達の解答をすぐに動画で確認できるのも、特徴です。  タブレットならではのカメラ撮影解答もできるので、直接書き込むのが難しい子ども達の学習もサポートできます。あなたのオリジナル教材作成を支援します！</p>				
備考				

講座F	19日(金) 講演 9:30~12:30	会場：調整中	定員	30名
講座名	「マルチメディア DAISY の紹介と事例報告」			
講師	田中 直壽 先生 (大阪府立和泉支援学校 教諭)			
内容&紹介				
マルチメディアデージー図書の紹介と大阪マルチメディアデージー研究会が進めている小学校・中学校・支援学校でデージー図書を使った授業実践の事例報告、それからプロデューサーや chantyinfy での DAISY 作成について紹介します。				
備考				

講座G	18日(木) 教材作り 13:30~16:30	会場：調整中	定員	15名
講座名	「 iPad アプリ「FingerBoardPro」で、教材を作ってみませんか?」			
講師	糸川 美和子 先生 (大阪府立和泉支援学校 教諭)			
内容&紹介				
無料なのに豊富な素材があり、簡単にインタラクティブな動きや音のある教材を作ることができます。紹介サイトのアドレスは、 <a href="http://1.facebook.com/17AQHrX176AQEkDF9Hm1al2pS95NqG2XONfPOIc0bjtlg5rA/fingerboard-app.com/">http://1.facebook.com/17AQHrX176AQEkDF9Hm1al2pS95NqG2XONfPOIc0bjtlg5rA/fingerboard-app.com/</a> です。 サンプルも楽しいのが色々あります。 appストアから、iPadに、アプリをインストールして、お持ちください。確認用に、生徒様の、FingerBoardも、インストールしておいて下さい。一緒に子供たちの顔を思い浮かべながら、教材を作りましょう。				
備考				
appストアから、iPadに、アプリをインストールして、お持ちください。確認用に、生徒様の、FingerBoardも、インストールしておいて下さい。				

講座H	19日(金) 演習 9:30~12:30	会場：調整中	定員	20名
講座名	「自閉症スペクトラムの人とのコミュニケーション コミュメモでみえるコムを」			
講師	大石 博司 先生 (株)ソワサポート 相談支援専門員 ) 大前 洋介 先生 (神戸市立盲学校 教諭 )			
内容&紹介 (講座の活動内容)				
最近の児童・生徒の発達検査の所見欄を見てみると、発達障害のお子さんの場合、「見てわかるもの」の大切さや、スケジュールを具体的に伝えること、手順もひとつひとつ具体的に伝えることの大切さが書かれていることがほとんどです。しかし具体的にそのような支援を受けているおさんはほとんどありません。 また「指示待ちで困る」という話もよく聞きますが、自分で判断し、自分で選択し、自分で行動し、自分で責任をとる、ということを見せてもらっている児童・生徒も少ないように思います。 そのようなことをどう実現していくのか、すでに販売されている、「株式会社おめめどう」のグッズで実際に書く体験も通して、知って頂き、また質疑応答できたらと思います。				
講座の具体的内容				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションについて</li> <li>2. グッズの一括紹介</li> <li>3. 絵を自分で描いてみる。</li> <li>4. 演習</li> <li>5. 質疑応答</li> </ol>				

講座I	18日(木) 教材作り 1330~16:30	会場：情報教室	定員	15名
講座名	「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作～オートスキャンもできるよ♪～」			

講師	竹島 久志 先生（ 仙台高等専門学校 情報システム工学科 教授 ） 小笠原 新 先生（ 仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム工学専攻 学生 ） 児玉 雅明 先生（ 仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム工学専攻 学生 ）
内容&紹介	<p>重度・重複障害児（知的障害を併せ有する重度肢体不自由児）の学習に必要となる、スイッチで操作できる教材ソフトをマイクロソフト社のパワーポイントで作ります。</p> <p>制作する教材ソフトは、(1)クリック教材（スイッチを押すと画像が変化・音がでる）、(2)選択教材（オートスキャンによりスイッチ1個で選択できる）の2種類です。パワーポイントはプレゼンテーション制作ソフトですが、アニメーション機能等を利用することで、手軽に教材ソフトが制作できます。</p> <p>前半は、パワーポイントを使ったスイッチ教材ソフトの基本動作をサンプルソフトの制作を通して実習します。後半は、各自オリジナルのクリック教材及び選択教材ソフト制作に挑戦します。使いたい素材（写真、イラスト、音等）があればお持ち下さい。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートパソコンを持参してください。パワーポイント 2007 以上がインストールされているものをご用意下さい。</li> <li>・操作スイッチをパソコンに接続するには、改造マウス（スイッチ用ジャックを取り付けたもの）または市販のスイッチインターフェースが必要になります。本講座では製作しません。※体験用として、会場に改造マウスとスイッチを数セット用意する予定です。</li> </ul>

講座J	19日（金）教材作り 9:30～12:30	会場：情報教室	定員	15名
講座名	「HTML5+Javascript を使った教材開発入門」			
講師	竹島 久志 先生（ 仙台高等専門学校 情報システム工学科 教授 ） 坪郷 正徳 先生（ 大阪狭山市立第七小学校 教諭 ） 児玉 雅明 先生（ 仙台高等専門学校 専攻科 情報電子システム工学専攻 学生 ） 小笠原 新 先生（ 仙台高等専門学校 専攻科 情報電子システム工学専攻 学生 ）			
内容&紹介	<p>HTML5 はWeb ブラウザに関する新しい規格であり、これまで Adobe Flash で制作していた様な教材ソフトを、タブレット端末やスマートフォンのWeb ブラウザでも動作するソフトとして作ることができるようになりました。また、ソフト開発に必要なものはテキストエディタとWeb ブラウザのみですので、手軽にソフト開発を始めることができます。</p> <p>しかしながら、初心者が教材ソフトを作るには、HTML および Javascript の知識やプログラミングの経験が必要であり、容易ではありません。</p> <p>本講座は、HTML5+Javascript による教材ソフト制作のきっかけになるような内容です。</p> <p>まず、これまでに研究室で開発したスイッチ教材ソフトや数の学習のための「村上タイル」を紹介します。「村上タイル」については、坪郷先生に教材内容についても解説していただきます。</p> <p>次に、こちらで準備したサンプルプログラムを少しずつ変更しながら、開発の方法やカスタマイズに必要な知識を学びます。最終的には、オートスキャンが可能なVOCAアプリを制作します。ボタンの画像や出力音声は各自で作っていただきますので、オリジナルのVOCAになります。使いたい素材（写真、イラスト、音等）があればお持ち下さい。その他、教材に使えるようなサンプルも準備する予定です。</p> <p>なお、制作したソフトは、パソコンやAndroid 端末では作ったファイルを端末にコピーして使うことができますが、iPad で使うにはWeb サーバにファイルを置く必要があります。</p>			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートパソコン(Windows または Mac) を持参してください。</li> <li>・Windows の場合、Google Chrome をインストールして来てください。IE（インターネットエクスプローラ）では正常に動作しない場合があるためです。Chrome をインストール出来ない場合は、USB メモリで動作する Chrome を準備しますので、それをお使いください。Mac の場合は付属の Safari で大丈夫です。</li> <li>・できれば、行番号が表示できるエディタ（例えば TeraPad）をインストールしてきてください。作業効率がよくなります。</li> </ul>			

★次のページから、製作講座の内容&紹介になります！！

講座K	18日（木）製作 9:30～12:30	会場：被服室	定員	15名
講座名	「初めてのマイコン教室～早押しスイッチを作ろう～」			

講師	浅田 寿展 先生（元兵庫県三田市立中学校技術科教諭） 田中 敏弥 先生（大阪府立藤井寺支援学校）
内容&紹介	
<p>ブレッドボードでマイコン回路を製作します。そしてLEDの点滅、スピーカから音を出す、スイッチからの入りに反応するなどのプログラムをマイコンに書き込んで、最終的には早押しスイッチを完成させます。</p> <p>工具は不要で、今回ははんだ付け作業はありません。プログラムを制作し、マイコンに書き込むため、若干のノートパソコン（windows 機）は準備しますが、お手持ちのパソコンがあれば必要ソフトをダウンロードして持参してください。なお、詳細は「ヒダピオシステム」の Web ページ <a href="http://www.hidapio.jp/">http://www.hidapio.jp/</a> に掲載します。</p>	
備考	
<p>材料費：基本セット1200円（持ち帰り。当日徴収）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書込装置（ケーブル付き。当日は貸与）希望者には当日2000円でお渡しします。）</li> <li>・スイッチキット250円（組み立て済み、希望者は <a href="mailto:asd@a.email.ne.jp">asd@a.email.ne.jp</a> まで7月中に事前申込み）</li> </ul>	

講座L	19日（金）製作 9:30～12:30	会場：被服室	定員	20名
講座名	「赤外線リモコン製作（オプション：電源リモコン製作）」			
講師	禿 嘉人 先生（東京都立光明特別支援学校 教諭） 外山 世志之 先生（東京都立町田の丘学園 教諭） 谷本 式慶 先生（東京都立八王子東特別支援学校 教諭）			
内容&紹介				
<p>仙台高専の竹島研究室で開発したスイッチ操作が可能な、赤外線リモコンを作成します。</p> <p>赤外線リモコンで動作可能な電源リモコンも用意しますので、AC100V で動作する機器のコントロールも出来ます。</p>				
備考				
<p>材料費：「赤外線リモコン製作」4500円</p> <p>※<a href="#">操作可能な電源リモコン（1500円）はオプションで用意します。</a></p>				

講座M	19日（金）製作 13:30～16:30	会場：被服室	定員	20名
講座名	「Bluetooth スイッチインターフェイスの製作」			
講師	禿 嘉人 先生（東京都立光明特別支援学校 教諭） 外山 世志之 先生（東京都立町田の丘学園 教諭） 谷本 式慶 先生（東京都立八王子東特別支援学校 教諭）			
内容&紹介				
<p>iPad を操作することが出来る Bluetooth スイッチインターフェイスを製作します。</p> <p>市販の iRemote shutter Century の改造をします。また、製作だけでなく iPad のアクセシビリティ機能であるスイッチコントロール、レシピの使い方をご紹介します。</p>				
備考				
材料費： <a href="#">3300円</a>				